

いっしょにあそぼ！

- 日時 2010年2月28日(日) 10:00～11:30
- 会場 ウイリング横浜 124・125号(12階)
- 定員 40組の親子
- 対象 小さいお子さん(3歳未満)のいるご家庭ならどなたでも
- 参加費 無料



悪天候の中でしたが、たくさんの親子連れに参加して頂き、大盛況でした。家庭的保育って何？どんな人がやっているの？参加してくれた保護者の皆さんに感心を持っていただけました。子どもたちも楽しい時間を過ごしてお土産を手に満足顔で帰っていきました。子どもたちも保護者の方々も、そして私たち家庭的保育者も楽しめるすてきな企画でした。(会場係 矢後)

みんなであそぼコーナー

エプロンの中からお話がとび出したり、パネルに貼った絵人形が動き出したり、手や体を使ったふれあい遊びも楽しい歌にあわせて子どもだけでなく、お父さん・お母さんもノリノリでみんなの心が一つになって楽しんでいました。道具や音楽、歌の力を感じました。

(担当 中静・園田・福田)



10:05～10:40

- ① ひつつきもつつき (ふれあい遊び)
- ② ふとんのなかで (パネルシアター)
- ③ 野菜の歌 (ペープサートと手遊び)
- ④ 何が釣れるかな (エプロンシアター)
- ⑤ アンパンマン (手遊び)
- ⑥ 大きなかぶ (ペープサート)

10:50～11:25

- ① さかながはねて (手遊び)
- ② いないないばあ (ペープサート)
- ③ 冬の日のお散歩 (パネルシアター)
- ④ 山の音楽家 (歌遊び)
- ⑤ チョキチョコキかにさん (ペープサート)
- ⑥ 不思議なポケット (エプロンシアター)

つくってあそぼコーナー



「製作 おひなさま」

材料 顔・頭 各2点(両面テープ付き)

大小のシール ・ 台紙

小さい子には多少難しい様子でしたが、母親の方が楽しんで作っていました。

簡単な作業なので短時間で済ますことができ、小さい子も飽きずに出来ました。(担当 内山・清水)

ねんどコーナー

たいへん人気がありました。粘土をさわった瞬間「フニャフニャで気持ちいい」「ママのオッパイみたいにフワフワ…」と感触に興味を示しました。

お父さんが車や飛行機などを作って子どもに自慢している姿が見られたり、ケーキや果物を沢山作って並べてお店屋さんごっこになったり、親子共々喜んで楽しんでいる家族が多かったです。



粘土の色がピンク・赤・黄色・緑と彩りが良く、作るイメージも浮かびやすかったようです。

「どうやって作るんですか?」と家でもチャレンジしたいという声があり、レシピをも持ち帰った人も多く、多めに準備しておいて良かったと思えました。(担当 判治・柴田)

おりがみコーナー



折り紙としては、アイスクリーム、パクパクきつね、ピョンピョンカエル、にそう船からだまし船に変化するもの、パクパクなどを用意しました。

紙をクチャクチャとまるめたりシールを貼るなどで簡単にできるアイスクリームが見た目がかわいいこともあり人気でした。その他のものは動かして親子で楽しんでいました。

(担当 山本・阿部)

展示コーナー

家庭的保育を保護者の皆様に知って頂こうとパンフレット「もっと知りたい!家庭的保育」の内容を拡充し、横浜の家庭保育福祉員が行っている「保護者会」との共催行事を中心に掲示させていただきました。テーブルの上には、メッセージ集やアルバム、運動会のプログラム・「手作りおもちゃ」の本等を置き手に取ってご覧頂けるように致しました。

多くの方が、興味深くアルバムや「手作りおもちゃ」の本を手にとって見ていらっしゃいました。(担当 岩原)



紹介コーナー (スライドショー)



家庭保育の様子を 50 枚の写真が 20 分のスライドショーでエンドレスで流れていきました……。家の中で、外にでて、保育園との連携など、個性豊かな多くの保育者の様子が手に取るように分かります。お父さん、お母さん方も興味を持ってみて下さいました。保育室それぞれに創意工夫があり、保護者だけでなく私達保育者にとっても、参考になるスライドでした。(担当 松岡)

おみやげコーナー

日頃から子ども達を楽しませている腕を生かし、ひとつひとつ手作りされたおもちゃたちが沢山集まりました。実演して見てもらった時の、子ども達やお母さん・お父さん達の笑顔や驚きの表情が見られたことが、このコーナーを担当できた「しあわせ」の瞬間です。どれを選んだらいいか迷う子ども達の表情も可愛らしく、やっと決めたおもちゃをしっかりと手にして帰る後ろ姿が愛しく思えました。



また、保育者同士で、お互いのスキルを交換し合うのも、嬉しいプラスあるふぁー だったかと思います。忙しいことを苦にせず、沢山手作りしてコーナーを盛り上げてくださったみなさんに感謝です。(担当 寺田)

「いっしょにあそぼ！」開催を終えて

今年度、当協議会はWAM子育て基金の助成を受けて、家庭的保育の普及・啓発を目的に活動しています。その一環である第2回セミナー「いっしょにあそぼ！」を開催いたしました。家庭的保育の対象となる子どもとその家族に、家庭的保育の実際をより身近に伝えたいと計画し、昨年末から何度も検討を重ねて準備をしてきました。

どんなに準備をしても参加して下さる子どもたちに来ていただかないと「いっしょにあそぼ！」は成り立ちません。当日は朝から雨。とっても心配いたしましたが、29組の家族（親子）がご参加くださいました。子どもを中心にご家族と家庭的保育者が楽しそうに「いっしょに」遊んでいる様子を見て、ほっと安堵し、徐々に盛り上がっていく雰囲気にとっても嬉しく思いました。

アンケートも74,4%の方が答えて下さり、「参加していかがでしたか？」の質問には、62,5%が『とってもよかった』37,5%が『よかった』それ以外の評価はありませんでした。（詳しくはニュースレターNo.8に掲載）コメントにも好意的な内容が多く、感謝しています。

また、開催が横浜でしたので横浜の家庭的保育者が中心となり実施いたしました。彼女達の熱意のあること。横浜以外の保育者の前向きな協力。これらは「家庭的保育を伝えたい」というひとつの同じ思いから来ていて、その思いをもって「いっしょにあそぼ！」に参加していたことが大きな成果に繋がったのだと思います。

雨の中ご参加下さいました皆様には心からお礼申し上げます。家庭的保育が普及し、益々発展するために今回の「いっしょにあそぼ！」は役立ったに違いないと思います。有り難うございました。（セミナー責任者 水嶋）